

第40回

ICTワークショップ シヨツプ。

各種LEDの開発・事業化、
電気システムを監視・制御する配電盤、
カーボンニュートラルに向けた
エネルギーの地域研究拠点の構築

2025

2/20

(木)16:00~17:40

ハイフリット開催

(100周年記念ホールおよびオンライン同時配信)

要申込

詳しくはこちら



交流会(参加費1000円,ただし学生は無料)を実施します。
対面および交流会は先着35名様に限らせていただきます。(2/14締切)
オンライン参加は定員はありません。(当日12:00締切)



国立大学法人

電気通信大学

The University of Electro-Communications

主催：国立大学法人電気通信大学

後援：一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）

企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

プログラム

(1) 株式会社ナノテコの取り組み

島田 順一 氏

(株式会社ナノテコ 代表取締役 兼 社長執行役員)

株式会社ナノテコは、電気通信大学発の初ベンチャー企業として2000年に誕生。砲弾型LED、線光源、電球、照明制御用の電源ドライバー、ホーム・ビルオートメーションの国際標準プロトコルKNX製品の国内独占販売、認定トレーニングを展開しています。LED事業の社会実装を開始、またソフトウェアビジネス確立に向けて大手ICT企業との協業を開始しました。

(2) 社会インフラとしての配電盤産業の業務の流れと今後の発展

下山 直隆 氏

(株式会社精美電機製作所 精美先進技術開発センター
ゼネラルマネージャー)

6,600V以下の電気システムを監視・制御する配電盤の製造を行っています。配電盤はビルや工場には不可欠な社会インフラです。これらは設置環境、電源の使い方、安全対策など個々に多様な要求仕様を備えており、そこにもものづくりのしさがありません。大量生産品とは違う、一品一葉品特有の課題とそれに対する弊社の取り組みをご紹介します。

(3) Info-powered Energyに向けた取組について

横川 慎二 教授

(i-パワードエネルギー・システム研究センター、
情報理工学研究科情報学専攻)

電気通信大学は、情報学とエネルギー学の融合による地域研究拠点の構築を目指し、カーボンニュートラルに向けたエネルギー研究、地域活性化、人材育成を推進しています。本講演では、これらの取組と今後の展望を紹介します。